

平成31年度 第2回市長タウンミーティング概要

と き：平成31年4月13日(土)
午後7時～午後8時30分
ところ：東公民館
参加者：86人

○市長あいさつ

(市長より、平成31年度の施策・予算についての説明が行われました。)

○意見交換

質問(男性)

高齢者クラブ和楽会では、月に数回、塚越グラウンドでグラウンドゴルフを行っています。グラウンド使用料を減免にいただいています。ただ、減免申請書を提出するために、毎月、市役所に行かなくてはならず、その負担軽減に向けて、申請書の提出を1年に1回で済むようにするか、または東公民館で手続きができるようにしていただけないでしょうか。

回答(市長)

グラウンドゴルフは高齢者の皆さんの健康づくりにつながることから、グラウンドの使用に関して、減免制度を活用いただいているところです。現状、スポーツ施設は1か月ごとで予約を受け付けており、予約完了後に減免申請書を提出していただいています。そうした手順を踏まえると、グラウンドの予約確定前から申請書を提出していただくわけにはいきませんので、年に1回の申請にするということは難しい状況です。ただし、塚越地区から市役所へ行くのはご苦労があると思いますので、グラウンドのお隣にある東公民館で手続きができるよう、検討していきたいと考えています。

質問(男性)

同じく和楽会の一員です。塚越グラウンドのライト(右翼)付近にあるスプリンクラーが故障しているのか、360度の範囲にわたって水が散布されない状況です。改善していただけないでしょうか。

回答(市長)

担当者に現地を確認させて、どのような対応ができるか検討してまいります。

(道路公園課より 現地でスプリンクラーを確認したところ、回転はするものの、噴出口の一部から散水されていない状況でした。今後、修理を検討してまいります)

質問 (男性)

塚越7丁目にある、あづま公園の改善をお願いします。

また、市民公園の防災倉庫付近に受水タンクと自家発電装置が古くから設置されていますが、どのような管理をされているのか教えていただきたいと思えます。

回答 (市長)

1点目のあづま公園に関しては、具体的な内容を含め、担当者に確認させて、対応を検討してまいります。

2点目の市民公園に関しては、防災公園ということもあり、古くから自家発電装置が設置されているのかと思いますが、この件についても担当者に確認させて、対応を検討してまいります。

(道路公園課より 現地を確認し、あづま公園の改善に関しては、今後の課題とさせていただきます。また、市民公園の受水タンクと自家発電装置は現状では使用しておらず、今後の方向性を含めて検討するとともに、その間の公園内の安全管理に努めていきます)

質問 (男性)

コミュニティバス・ぷらっとわらびの乗り継ぎについてお願いがあります。市役所等へ出かけた際に、西ルートでバスで蕨駅西口へ行き、東ルートのバスに乗り継ごうとすると、40分近く待ち時間が発生してしまいます。改善していただけないでしょうか。

回答 (市長)

ぷらっとわらびは、西ルート、東ルート、南ルートの3ルートでバスを運行しており、現時点における最善のルート設定や時刻設定をしているものの、お話をいただいたような実状があることも認識しています。そうしたなか、私の3期目のマニフェストにおいて、4台運行や逆回りなどを踏まえた、「ぷらっとわらびのルート拡充」を掲げていて、今年度はその予算が計上されているところです。今後は市議会に丁寧に説明しご理解をいただきながら、市民の皆さんがよりいっそう利用しやすい環境となるよう、取り組みを進めていきたいと考えています。

質問（女性）

私は、自閉症のある子どもと暮らしています。市内に障害者の入所施設をつくっていただけないでしょうか。

質問（女性）

私も、自閉症で重度の知的障害のある子どもと暮らしています。ぜひ、入所施設をお願いします。

回答（市長）

お二人から障害者の入所施設に関するご意見をいただきました。これまでも何度かお話を伺っており、お気持ちはじゅうぶん承知しておりますが、施設を建てる適切な広さの土地や整備・運営をする社会福祉法人の確保など、条件的に難しい面がございます。

ただ、私自身、施設の必要性は認識しており、3期目のマニフェストで「障害者の入所施設の広域的検討とグループホームの整備」を掲げています。県内の障害保健福祉圏域で蕨市が属する南部圏域では、直近で川口市内に入所施設ができたことから、入所する蕨市民の支援の安定を図るため、今年度、重度知的障害者入所施設運営費補助金を創設したところです。今後も他の自治体と連携・協力を図りながら、障害のある方が安心して暮らせるよう、引き続き取り組みを進めていきたいと考えています。

質問（男性）

防災行政無線の音声は日常的に聞こえづらい状況です。安全管理のため、荒川が氾濫するような緊急時には、防災行政無線ではなく、特別なサイレン音で伝えるような体制にしたほうがいいのではないのでしょうか。

回答（市長）

防災行政無線に関しては、これまでも市民の皆さんからご意見をいただき、改善を図っていますが、依然として聞こえづらいという声をいただいています。そうしたことを踏まえ、放送した内容を市ホームページに掲載しているほか、ケーブルテレビ・ウインクの番組内における文字テロップやテレビ埼玉のデータ放送などで、確認できるようにしています。また、今年度は防災行政無線のアナログ方式からデジタル方式への移行に関する予算を計上しており、そうした環境整備を進めていくなかで更なる改善を図っていきたいと考えています。そして、緊急時の放送と日常的な放送との差別化についても、その必要性はじゅうぶん認識しており、今後どのような方法がよいのか、検討していきたいと考えています。

質問（女性）

塚越4丁目に住んでいます。雨が降ると、自宅前の道路の側溝に水が溜まってしまいます。改善していただけないでしょうか。

回答（市長）

担当者に現地を確認させて、どのような対応ができるか検討してまいります。

（道路公園課より 現地を確認し、水が溜まるのが解消できるよう、順次対応していきたいと考えています）

質問（男性）

東中学校のPTAに携わっている保護者です。今年度からコミュニティ・スクールを導入し取り組みが進められると思いますが、地域の子どもと大人がうまく関わっていけるよう、将来的には戸田市のように学校内に生涯学習施設を整備していくことは検討しているのでしょうか。

また、今年度から進められる学校ICTの推進に関しては、どのような環境整備を進めていくのでしょうか。

回答（市長）

1点目のコミュニティ・スクールとは、学校運営や学校の課題に対して、これまで以上に広く地域住民などが参画し、子どもたちの豊かな成長を育んでいくための取り組みです。蕨市においてはコンパクトシティである特性を生かし、今年度から塚越地区をモデル地区とし、東小学校・塚越小学校・東中学校の3学校区を1地区として、PTAや学校応援団の代表などによる学校運営協議会を設立いたします。お話をいただいたような、学校教育と生涯学習の連携については、以前は開かれた学校づくりの一環として学校開放講座を行い、地域の皆さんの生涯学習の場として学校施設を活用していただいていたのですが、近年は児童生徒数の増加などにより一時的余裕教室を確保できず、講座の開催が難しい状況です。更には、今年度蕨市で進めるコミュニティ・スクールの取り組みよりも一歩進んだ形でありますので、実現するにはまだまだ課題があると認識しておりますが、塚越地区の3校は地理的にも近く、コミュニティもいっしょです。将来的に学校施設が更新等のタイミングを迎えるときには、施設の整備も視野に入ってくるのではないかと思います。その際には、地元の皆様のご意見を伺いながら、理想に近づけていけるよう努めてまいります。

2点目の学校ICTの推進に関しては、2020年度から順次実施される新学習指導要領を見据え、全ての小学校と東中学校の教育用パソコンをタブレット型に更新するとともに、授業で使用する教師用タブレット端末を導入するなど、環境整備を進めていきます。今年度においては、まずは先生方に新たな環境の

中で授業をしていただき、今後、どのような形でタブレットや電子黒板、無線LANなどの更なる整備を進め、子どもたちの能力を伸ばし、しっかりと成果があげられるような環境にしていくか、検討していきたいと考えています。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。